拝啓　毎日うだるような暑さが続きますが、皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

　日ごろは大変お世話になりまして、心より厚くお礼申し上げます。

　また、先般は、（…に際しまして）…していただき（まして）【①ここに、相手から受けた便宜を具体的に記載します。または、一般的に「格別のご高配を賜りまして」など】、誠にありがとうございました。おかげ（さま）をもちまして、…することができました【②ここに、自分が受けた利益を記載します】。

　つきましては、日ごろお世話になっております◯◯様に感謝の意を表したく、本日、別便にて心ばかりの品をお中元のしるしにお贈りいたしました。ご笑納いただければ幸いに存じます。

　今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

　暑さ厳しき折（から）、くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

　まずは略儀ながら書中にてお礼かたがたご挨拶申し上げます。

敬具

　　　令和○○年○○月○○日

◯◯　◯◯